



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2018年10月31日

上場会社名 リソルホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5261 URL <https://www.resol.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼CEO (氏名) 平田 秀明
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 大澤 勝 TEL 03-3344-8861
 四半期報告書提出予定日 2018年10月31日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績（2018年4月1日～2018年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	11,362	△2.2	760	△1.9	723	2.9	110	△80.9
2018年3月期第2四半期	11,618	2.1	774	△20.2	703	△20.3	576	△21.5

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 164百万円 (△71.8%) 2018年3月期第2四半期 582百万円 (△21.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	19.86	—
2018年3月期第2四半期	103.77	—

(注) 2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年3月期第2四半期	35,895	14,251	35.4	2,285.91
2018年3月期	34,910	14,476	37.2	2,335.92

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 12,697百万円 2018年3月期 12,975百万円

(注) 2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり純資産」を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	0.00	—	70.00	70.00
2019年3月期	—	0.00	—	—	—
2019年3月期（予想）	—	—	—	70.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2019年3月期の連結業績予想（2018年4月1日～2019年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,500	△9.1	1,300	△38.2	1,620	△21.2	1,570	10.9	282.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年3月期2Q	5,564,200株	2018年3月期	5,564,200株
② 期末自己株式数	2019年3月期2Q	9,676株	2018年3月期	9,545株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年3月期2Q	5,554,618株	2018年3月期2Q	5,555,181株

(注) 2017年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来性に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(日付の表示方法の変更)

「2019年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移していましたが、西日本豪雨を始めとする自然災害による消費や企業活動の停滞等、景気回復の鈍化が懸念される状況となっております。また、海外においては、米中の貿易摩擦の警戒感は後退したものの依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境下、当社グループにおきましては、新たな柱となる事業への挑戦や新しい施設の開業、新マーケットの開拓などに取り組みました。また、各事業において「リソルスタイル」を徹底させ、お客様の満足度向上を積極的に図りました。

ホテル運営事業では、本年6月に「ホテルリソル京都 河原町三条」、8月に「ホテルリソル京都 四条室町」の運営を開始するとともに、ビジネス・観光需要の取り込み、インバウンドの集客強化に努めました。

ゴルフ運営事業では、より幅広い利用者を取り込むために、初心者向けの「はじめてのゴルフ」等の施策に取り組みました。ゴルフ以外の楽しみを提供するバンケット事業では、地元食材や健康メニューなどを取り入れたビュッフェメニューやイベント企画によりレストランの利用増加など集客強化に努めるとともに、運営面では自動精算機の導入等、お客様の利便性の向上を進めました。

CCRC事業では、千葉大学及び長柄町と提携し「リソル生命の森」で推進する「大学連携型CCRC」の地方創生推進事業において、一部のコテージエリアのログハウスを全面リニューアルしました。また、健康寿命延伸を目的とした「ウェルネスエイジクラブ」の会員拡大を図るなど事業化を進めました。

福利厚生事業では、働く人々の「健康」と「幸せ」を実現するため、多彩な健康メニュー・サービスを開発・提供いたしました。また、会員専用WEBサイト「メンバーズナビ」にてグループ施設のお得な情報をタイムリーに発信し利用率の向上を図りました。

再生エネルギー事業では、太陽光設備等の販売用不動産の売却を行いました。また、福島県では約37メガワットの太陽光発電事業の大型開発工事が順調に進んでおります。

不動産関連事業では、リゾート不動産の仲介・転売分野で保養所物件の再生・活性化を進めました。また、人気リゾートエリアの優良物件を厳選して仕入れ強化を図るとともに、東伊豆等の保養所を販売いたしました。

以上により、当第2四半期連結累計期間は、ホテル、ゴルフ運営事業において北海道胆振東部地震や台風、7月豪雨等の影響を受けたものの、太陽光設備等の販売用不動産の売却等により、売上高は11,362百万円（前年同期比2.2%減）、営業利益は760百万円（前年同期比1.9%減）、経常利益は723百万円（前年同期比2.9%増）、親会社株主に帰属する四半期利益は、特別損失の計上、連結子会社の法人税等調整額の計上等により110百万円（前年同期比80.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて984百万円増加し、35,895百万円となりました。これは主に有形固定資産の増加等によるものであります。負債につきましては、21,643百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,209百万円増加しております。これは主に、短期借入金及び1年内返済予定の長期借入金の増加等があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の業績は、予定通り推移しており、2018年5月11日に公表しました「平成30年3月期 決算短信 [日本基準] (連結)」に記載の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,438,249	2,829,763
売掛金(純額)	1,702,797	1,146,907
商品	112,194	116,508
販売用不動産	2,000,460	1,170,943
貯蔵品	99,526	95,674
未収入金(純額)	517,220	810,783
その他(純額)	1,329,822	2,335,778
流動資産合計	8,200,271	8,506,359
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,305,098	4,410,092
土地	15,993,147	15,999,821
その他(純額)	774,751	1,530,819
有形固定資産合計	21,072,998	21,940,734
無形固定資産		
のれん	1,686,774	1,612,070
その他	396,745	395,778
無形固定資産合計	2,083,519	2,007,848
投資その他の資産		
投資その他の資産合計	3,553,438	3,440,138
固定資産合計	26,709,956	27,388,721
資産合計	34,910,228	35,895,080

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	823,543	766,933
短期借入金	1,300,000	3,766,720
1年内返済予定の長期借入金	1,956,820	2,255,220
未払法人税等	659,608	157,750
賞与引当金	133,597	175,230
役員賞与引当金	15,000	-
その他	2,071,702	2,541,799
流動負債合計	6,960,271	9,663,652
固定負債		
長期借入金	6,805,500	4,680,390
預り保証金	5,234,736	5,138,621
退職給付に係る負債	534,266	529,465
従業員特別補償引当金	64,250	106,500
資産除去債務	101,305	166,427
その他	733,055	1,358,274
固定負債合計	13,473,114	11,979,678
負債合計	20,433,385	21,643,331
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,948,088	3,948,088
資本剰余金	2,401,700	2,401,700
利益剰余金	6,359,105	6,080,589
自己株式	△22,137	△22,713
株主資本合計	12,686,756	12,407,664
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5	26
土地再評価差額金	299,476	299,476
退職給付に係る調整累計額	△10,987	△10,022
その他の包括利益累計額合計	288,494	289,481
非支配株主持分	1,501,591	1,554,603
純資産合計	14,476,842	14,251,748
負債純資産合計	34,910,228	35,895,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	11,618,561	11,362,916
売上原価	4,413,005	4,119,696
売上総利益	7,205,555	7,243,220
販売費及び一般管理費	6,430,741	6,483,145
営業利益	774,813	760,075
営業外収益		
受取利息	74	30
債務消却益	319	—
受取保険金	3,155	8,861
その他	31,336	40,772
営業外収益合計	34,885	49,663
営業外費用		
支払利息	53,703	43,361
支払手数料	33,885	36,445
その他	18,873	6,513
営業外費用合計	106,461	86,320
経常利益	703,237	723,418
特別損失		
事業所整理損	9,493	—
固定資産除却損	1,335	2,879
従業員特別補償引当金繰入額	9,540	84,500
貸倒引当金繰入額	—	88,519
解約違約金	62,131	—
災害による損失	—	8,054
特別損失合計	82,500	183,953
税金等調整前四半期純利益	620,737	539,464
法人税、住民税及び事業税	88,478	160,420
法人税等調整額	△51,130	215,722
法人税等合計	37,348	376,142
四半期純利益	583,389	163,322
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,919	53,011
親会社株主に帰属する四半期純利益	576,469	110,310

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	583,389	163,322
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,172	21
退職給付に係る調整額	1,000	965
その他の包括利益合計	△1,172	986
四半期包括利益	582,216	164,308
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	575,297	111,296
非支配株主に係る四半期包括利益	6,919	53,011

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	620,737	539,464
減価償却費	362,925	345,109
のれん償却額	69,612	74,703
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,398	89,556
賞与引当金の増減額(△は減少)	19,718	41,633
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,506	△4,800
受取利息及び受取配当金	△74	△30
支払利息	53,703	43,361
受取保険金	△3,155	△8,861
従業員特別補償引当金の増減額(△は減少)	△1,460	42,250
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△15,000	△15,000
債務消却益	△319	—
固定資産除却損	1,335	2,879
事業所整理損	9,493	—
解約違約金	62,131	—
支払手数料	33,885	36,445
売上債権の増減額(△は増加)	463,061	515,210
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,137,798	829,054
その他の資産の増減額(△は増加)	△618,833	△1,141,204
仕入債務の増減額(△は減少)	△98,552	△56,610
未払消費税等の増減額(△は減少)	150,786	△59,437
その他の負債の増減額(△は減少)	137,326	531,241
小計	2,399,024	1,804,967
利息及び配当金の受取額	74	30
利息の支払額	△51,463	△43,193
保険金の受取額	3,155	8,861
法人税等の支払額	△140,924	△635,464
解約違約金の支払額	△62,131	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,147,734	1,135,200
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△132,305	△437,998
無形固定資産の取得による支出	△1,332	△20,053
その他	△97,724	△336,032
投資活動によるキャッシュ・フロー	△231,362	△794,085

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	500,000	2,466,720
長期借入れによる収入	450,000	298,400
長期借入金の返済による支出	△1,212,578	△2,125,110
リース債務の返済による支出	△113,680	△111,262
自己株式の取得による支出	△382	△576
配当金の支払額	△276,546	△387,302
預り保証金の純増減額 (△は減少)	△151,368	△90,470
財務活動によるキャッシュ・フロー	△804,555	50,398
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,111,816	391,513
現金及び現金同等物の期首残高	1,697,929	2,438,249
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,809,746	2,829,763

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日 至2017年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注①)	四半期連 結 損益計算 書計上額 (注②)
	ゴルフ 運営事業	ホテル 運営事業	CCRC事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	不動産関連 事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	3,129,065	4,328,843	1,492,782	522,409	130,510	2,014,950	11,618,561	—	11,618,561
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	3,129,065	4,328,843	1,492,782	522,409	130,510	2,014,950	11,618,561	—	11,618,561
セグメント利益 又は損失(△)	215,378	886,822	52,501	△247,587	55,299	463,922	1,426,337	△651,523	774,813

(注) ① セグメント利益又は損失(△)の調整額△651,523千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

② セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注①)	四半期連 結 損益計算 書計上額 (注②)
	ゴルフ 運営事業	ホテル 運営事業	CCRC事業	福利厚生 事業	再生 エネルギー 事業	不動産関連 事業	計		
売上高									
(1) 外部顧客への 売上高	2,818,652	4,569,644	1,490,221	742,824	1,522,798	218,775	11,362,916	—	11,362,916
(2) セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,818,652	4,569,644	1,490,221	742,824	1,522,798	218,775	11,362,916	—	11,362,916
セグメント利益 又は損失(△)	167,834	811,119	50,731	△159,507	569,484	11,421	1,451,084	△691,009	760,075

(注) ① セグメント利益又は損失(△)の調整額△691,009千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

② セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。